

—戦後70年企画—

戦時収蔵資料展



上：砂町婦人会の防空演習（昭和19年頃）

下左：紙芝居（昭和18年） 下中央：絵葉書

下右：軍事資材供出の広告



かういふ貨幣はすべて勝抜くための大切な軍需資材です。進んで他の貨幣と引換へませう。

孔アキの五銭、十銭、白銅の五銭及び一銭、一銭等の銅貨はすべてアルミ貨又は小額紙幣とお引換へ下さい。

十二月から、全国銀行の本支店、出張所、信託會社、信用組合、並に戦時物資活用協會でお引換へいたします。

五十銭、二十銭、十銭、五銭の銀貨も引換へます。

陸軍省・海軍省・大藏省
内務省・大政翼賛會
戦時物資活用協會

平成27年

主催 公益財団法人龍ヶ崎市まちづくり・文化財団

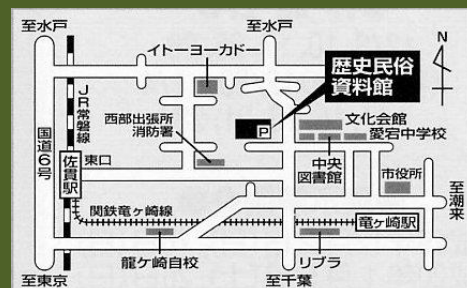
8.5 (水) ~ 9.6 (日)

■開館時間 9:00~17:00

■休館日 毎週月曜日 ■入館料 無料

龍ヶ崎市歴史民俗資料館

〒301-0004 茨城県龍ヶ崎市駒馬町 2488 番地 TEL0297-64-6227



- 関東鉄道電ヶ崎駅から徒歩20分、または車で5分。
- JR常磐線、佐貫駅より車で15分。

http://ryureki.org

—戦後70年企画—

戦時収蔵資料展



絵本『空の軍神』(昭和17年)



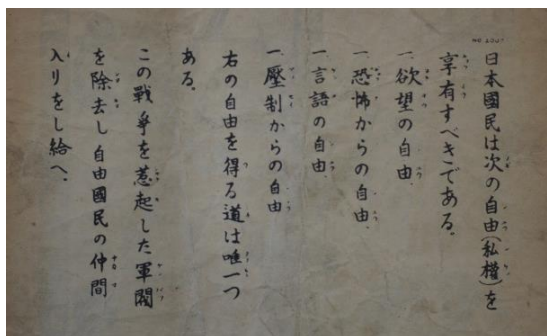
軍用機と戦車柄のねんねこ半纏



灯火管制用カパー



『主婦の友』表紙
(昭和16年)



米軍機が散布したビラ



防空用防毒マスク



陸軍特攻隊員(第55振武隊)軍服

昭和20年(1945)8月15日、太平洋戦争が終結してから今年で70年を迎えます。現在を生きる私たちにとって、あの戦争は、もうすでに遠い過去の出来事になりつつあります。戦時下を生きぬいた世代も少なくなり、私たちの身の回りからは、戦争の記憶やそれを伝える事柄が年々消えていこうとしています。しかし、戦争は日本人が忘れてはならない歴史であり、これから先の時代への教訓として意識していかなくてはなりません。

資料館では、これまでに収集された戦時関係の資料を展示紹介するとともに、戦時中に龍ヶ崎で起きた悲劇として、軍需工場羽田精機に勤務していた方の回想録や、アメリカ軍戦闘機P-51による馴染第一国民学校(現・馴染小学校)の空襲、佐沼町のB-29墜落事故などについて伝えます。

苦しく、厳しかった過去を知り、二度とこのような歴史を繰り返さぬよう、平和を願い、考える機会となれば幸いです。